

1年の締めくくりに餅つき

仕事納め「力合わせグループを盛り上げよう」

平成28年を締めくくる恒例の餅つきが12月28日、城西病院の旧玄関前で行われました。

もち米は昨年と同じ約40キ㌘を用意し、八臼に分けてつき始めました。多田正毅理事長をはじめ、職員が交代で杵を振り下ろし、みるみるうちにつき上げていきました。

出来立ての餅は女性職員が集まって、鏡餅、きな粉餅、あんこ餅、辛み餅にして、各職場に配布しました。

12月28日の仕事納めは、リハビリ室に職員が集まり、多田理事長があいさつしました。「今、職員は約560人。一人一人、みんなの力が集まり、グループの力となっている」と職員たちに語り、茶釜の湯のオープン、歯科・口腔外科の開設などの出来事を振り返りました。来年春には、栃木県壬生町にショートステイ施設のオープンを予定し、「来年はまた、違った力強い動きがある。一人一人の力を団結し、この達生堂グループを盛り上げていってほしい」と語り、3本締めの手拍子で今年を締めくくりました。

平成28年12月28日

